

5.18

■司会 西森 俊二<高知県> 佐川町教育委員会派遣社会教育主事
佐藤 敬子<大分県> 大分県教育庁教育委員会社会教育課社会教育主事

1.生涯学習の府「ルネサンス大学名教館21」^{メイ コウ カン}－その試練と今後の展望－

9:00～9:25

山本 清和<高知県> 佐川町教育委員会生涯学習係主幹

国のふるさと創生1億円を受け、平成3年秋、単位制度導入の町民大学として、コミュニティカレッジ「佐川ルネサンス大学」が開講された。町民の中に眠る何かを呼びさまそうと繰り広げられている「ルネサンス運動」の拠点基地として、また、これからの「生涯学習の府」として期待されている。これまでの経緯、成果、課題について発表を行う。

2.地域の新しい風

9:25～9:50

－大学の出前講座「大分大学米水津塾」^{よのう づい}の成果と課題－

小田 昭夫<大分県> 米水津村教育委員会生涯学習係

大学の教員が村に出向いて村民の身近な問題について講義をする「大分大学米水津塾」。開校式と終了式は大学で行う等、日常とは異なった雰囲気を取り入れながら、普段は気軽に学習できる機会を提供している。平成9年度からは単位制導入の試みも始められる。また「海辺の村交流館」を設け大学の教員や学生と村民との交流も深めている。

～ ティータイム ～

9:50～10:25

3「ゼミナールFUKUOKA21」

10:25～10:50

－大学の資源活用と人材育成の方法－

近藤 暢也<福岡市> 福岡市教育委員会生涯学習部城南市民センター主任社会教育主事

「ゼミナールFUKUOKA」は、地域が抱えている様々な問題について考え、主体的に地域づくりに取り組むことのできる人材の養成を目的としている。その際、大学の持つ人材、情報、施設などを効果的に活用している。市民は、単に受け身で講義を受けるに留まらず、ゼミナール形式で主体的に学習し、レポート作成等を通して、問題意識を深め、解決の糸口を探り始めている。

4.ボランティアの派遣による学習支援

10:50～11:15

－糸島地区青少年高齢者等交流事業の取り組みと成果－

今村 節子<福岡県> 糸島地区ボランティア人材派遣事務局

糸島地区1市2町が連携・協力して平成7年度から特技等を持ったボランティアを募集し、小・中学校や地域の人々の学習活動を支援するため、要請に応じ指導者を派遣する事業を展開してきた。その経緯と現状を報告し、今後の展望について検討を行う。

5.総括討論

11:15～11:40